

# 令和7年度 第4回 世田谷区長定例記者会見

令和7年8月1日  
世田谷区

# ～戦後80年 平和都市宣言40年 せたがや未来の平和館10周年記念事業～ ノンフィクション作家・保阪正康氏を迎え、シンポジウムを開催しました。

参加費 無料  
定員700名  
申込書あり

世田谷区 平和都市宣言40年  
せたがや未来の平和館 10周年  
記念シンポジウム

**次世代への  
継承**

戦後80年 語り継ぐには

令和7年 **7/16** 水  
13:30~16:00

会場 世田谷区民会館(せたがやイーグレットホール)

申込み ◆せたがやコール 電話 03-5432-3333(午前8時~午後6時)、FAX 03-5432-3100(24時間)  
ひととき保育あり(7月2日までせたがやコールへ要予約、先着)  
◆オンライン予約(上記二次元コード) 申込フォーム

**第1部 13:30~14:30**  
基調講演:保阪正康氏  
戦争の記憶を未来の世代に語り継いでいくことの意義を、自身の調査や執筆の経験からお話します。昭和史を振り返り、戦後80年を振り返って、平和への自覚と責任を改めて確認しましょう。

**第2部 14:45~16:00**  
パネルディスカッション  
私たちが平和を継承し創造する主体となるために何が出来るか?このパネルディスカッションでその課題や可能性を探っていきます。  
ファシリテーター:暉峻僚三氏  
パネリスト:保阪正康氏 保坂展人氏  
ファシリテーター:暉峻僚三氏  
中央大学 経済学 神奈川大学 講師、川崎市平和館 教育委員会、専門は平和学と地域的一元化教育を通じた平和の構築。多民族地域であるマンハッタンやコロンビア大学に在籍し、2011年に帰国後、生で合意社会を作っていくことと目指した。非平和の平和への転換を考えた平和教育プログラム「世帯」のファシリテーターとして、平和のためのやりこりの場作りを行う。

お問い合わせ せたがや未来の平和館(世田谷区平和資料館) 電話 03-3414-1530  
主催 世田谷区、世田谷区教育委員会



開催日時: 令和7年7月16日(水) 13時半~16時 場所: せたがやイーグレットホール 来場者数: 約600人  
内容: 第1部: 保阪正康氏の基調講演 第2部: 保阪正康氏、暉峻僚三氏、区長のパネルディスカッション

# 平和記念シンポジウム 保阪正康氏を迎えて

～戦後80年 語り継ぐには～



2025年7月16日 せたがやイーグレットホール

旧軍人など4,000人から話を聞いたが、戦争体験を聞くことは日本では簡単ではない。様々な戦争体験があるが、戦場体験が中心になるべき。しかし本質的に苦しい語りとなる。

日本軍が正常に機能していたらどうだったかを考えることが大切。調べれば調べるほど、矛盾、ごまかしに出会う。実はそのことを旧軍人は皆知っていた。

軍隊を持つならば、ここを総ざらいする必要があると、良心的な旧軍人は言っていた。結局、責任追及をされないために書類を燃やしたということ。隠そうとしたということだ。

戦争はある日突然起きるわけではない。13とか14の段階があることを知っておく必要がある。新しい戦争論、平和論が必要になっている。それを作るのに日本は適していると思う。

若い人へのメッセージとしては、戦争は、平常時の常識が逆となるような残酷さ、正義が逆転する怖い世界だと自覚することが大切である。



# 第60次 沖縄県豆記者団が 来訪！

令和7年7月31日



# 【世田谷区子どもの権利擁護機関

通称：**せたがやホッと子どもサポート**(略称：**せたホッと**)

～「子どもの権利」をまもる相談機関

○「せたホッと」の特徴 その1 (令和6年度活動実績より)

## ①何度でも、解決するまで話を聴きます

	1回のみ	2～9回	10回以上	合計
令和6年度新規件数のうち、相談継続回数	111件 (30.7%)	200件 (55.2%)	51件 (14.1%)	362件 (100%)

## ②必要に応じて関係機関(学校、児童相談所など)と連絡・訪問し、

協力を求めながら調査・調整等を行います

令和6年度	学校	区児童相談所	子ども家庭支援センター	区教育委員会	児童館	その他	合計
関係機関との活動回数	386回	211回	67回	66回	32回	23回	785回



マスコットキャラクター「なちゅ」

# ○「せたホツと」の特徴 その2（令和6年度活動実績より）

- ①初回の相談者362人中、子どもからの相談が281人(77.7%)
- ②子どもにやさしい相談ツール「せたホツと専用相談はがき」

初回の相談方法	はがき	電話	メール	面接	合計
子どもから	127件 (45.2%)	76件 (27.0%)	48件 (17.1%)	30件 (10.7%)	281件 (100%)

- ・切手、のり、はさみ不要
- ・書いたら、目隠しシールを貼って、郵便ポストに投函するだけ
- ・返事の宛先は、自宅または学校あてなど子どもが選べる(相談の秘密を守ります)
- ・区内の全小中学校に、毎年1人1枚行き届くよう配布





8月1日open

—あなた「YOU」のための居場所—

# 15～24歳の女の子のための居場所「ゆうカフェ」開設

「ゆうカフェ」ロゴ

「世田谷区悩みや困難を抱える若年女性への居場所補助事業（地域保健福祉等推進基金活用）」としてモデル実施（令和7～8年度）

誰かと話したい時、ちょっと寂しい時、悩んだり困っている時、気軽に立ち寄れる居場所  
(週2日(木・金曜日13時～19時、祝日除く)開室)

## 自由に過ごす

一人でのんびりスマホを見たり、勉強したり、おしゃべりしたり、過ごし方は自由

## 個別相談

社会福祉士が常駐  
心理士、助産師への相談(月1回ずつ)  
LINEによる利用者の相談対応

## 食品・日用品の持ち帰り

食料、生理用品、日用品等生活に必要なものを無料で提供

## 飲料・おやつ・軽食

飲み物やお菓子、軽食を無料で提供

※スタッフ及び利用者が全員女性の安心な居場所です

世田谷区北沢2丁目9番6号  
COS下北沢(下北沢駅徒歩5分)

◆公募型プロポーザルにより選定した「公益財団法人プラン・インターナショナル・ジャパン」による運営



せたがや ども

# FUN FAN

ファンディング

## 公開審査会の様子 6月29日(日)



子ども団体が、企画内容を  
プレゼンテーション



子ども審査員5名、  
若者審査員2名、  
大人審査員3名が審査  
今後、子ども団体が、  
地域の中で、活動していきます。



7つの団体を決定！

- ★採択団体（発表順）
- kifurikku
- 保護猫救出大作戦
- PAWLIVE Kids
- 池ノ上劇団おむすび座
- GMKフェス
- c0me come
- 世田谷を味わう会

高校生世代～29歳の若者の主体的な地域活動を応援！

# せたがや若者 ファンディング

(世田谷区子ども・若者基金を活用)

## 7月12日(土) 公開審査会を開催!

KUNTHO	92点
SHIMOKITA COLLEGE	
文化祭実行委員会	100点
国士館大学 政経学部	
石見ゼミナール	86点
東京都市大学	
西山敏樹研究室	94点
DOG-PEE PROJECT	115点
演劇団体みちくさ	101点
Sustainable Dining	99点

地域活性化や地域課題の解決につながる活動

7つの若者団体が企画内容をプレゼンテーション

若者の主体性や地域への波及効果等を審査

審査員(若者3名・大人2名)による審査

7団体

すべて採択!!

活動費用(最大20万円)補助

★採択団体(発表順)…KUNTHO/SHIMOKITA COLLEGE 文化祭実行委員会/国士館大学 政経学部 石見ゼミナール/東京都市大学西山敏樹研究室/DOG-PEE PROJECT/演劇団体みちくさ/Sustainable Dining

Q：どんなコンテスト？

みんなが住んでる世田谷区で「こんなことがしてみたい」とか、「こんなまちになったら楽しいな」といったみんなの声を「動画」や「作文」、「絵」で教えて！

Q：誰が応募できるの？

これからの世田谷区と一緒に考えてくれる、区内に住んでいる小学生と中学生のみんなの声を聴かせてほしいんだ！

# キミのための イマ・ミライ コンテスト

区HP 22453

コンテストの詳細については、区HPを確認してね！  
たくさんの応募お待ちしております！

せたがやくきほんけいかく  
世田谷区基本計画を知って考えたこと、  
せたがやく  
世田谷区に教えて！聴かせて！

Q：募集期間は？

令和7年7月28日（月）から  
9月15日（月）まで  
オンラインの応募フォーム、  
または、郵送で応募してね！

Q：コンテストの結果は？

審査員が選んだ作品を送ってくれた  
みんなを表彰式に招待する予定だよ！  
（副賞あり）  
また、送ってくれた作品は  
区HPや刊行物、配信サイトで  
紹介する予定だよ！

～東京2025世界陸上～

# アメリカ陸上チームが 世田谷区でキャンプを実施

令和7年9月2日(火)～20日(土)

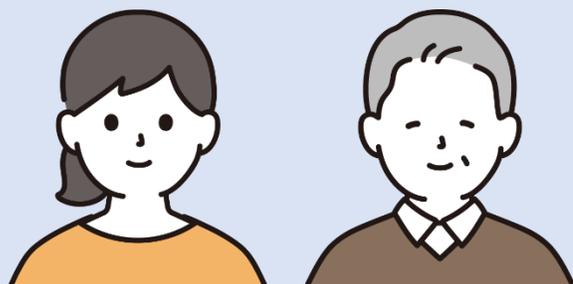
陸上王国アメリカのトップアスリートが、世田谷区に集結

世田谷区民とアメリカ陸上チームとの交流

- (1) 令和7年9月6日(土)、9月7日(日)を予定
- (2) 陸上競技場のスタンドからの練習の見学、区民と選手の交流会など

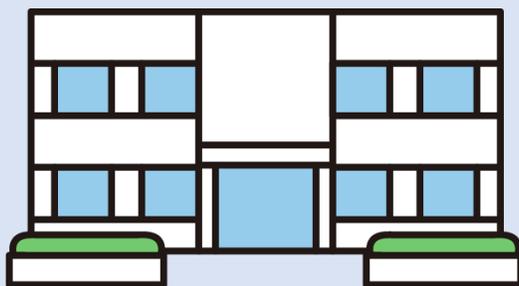
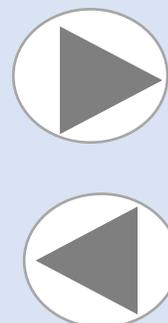
# 区内大学等応援補助事業の実施

①ふるさと納税により大学が  
実施する公益的事業に対し  
て寄付

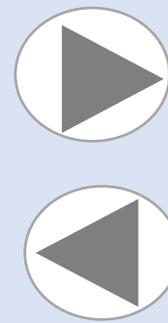


寄附者

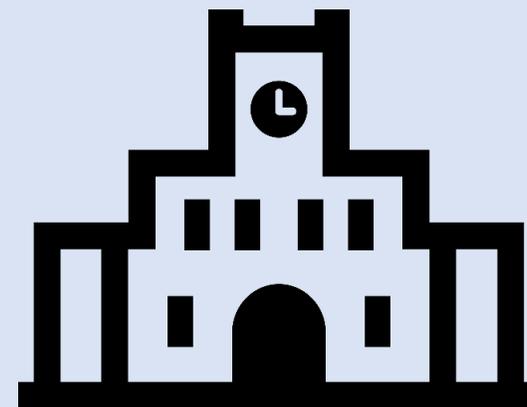
②寄附者が指定した大学に  
7割を上限に補助



世田谷区



③公益的事業の実施



区内大学等

住民税当控除

④実績報告書提出

⑤使途公表

寄附者が指定した大学等へ寄附金額の7割を上限に補助  
3割は区に残り、関連事務費用を除いた約2割が区の財源として活用を想定

10月寄附  
募集開始

# 人がつながる でんきでつながる ～世田谷区で広がる電気の地産地消～

建物屋根の再生可能エネルギーの導入ポテンシャル、23区最大！

卒FITの太陽光パネル  
約5,200棟！

太陽光パネル設置数  
約9,000棟！

自宅で余った電気は  
地域に売る

- 卒FIT単価より高く売電
- 地域の脱炭素化に貢献

地域の電気を地域で利用する

- 地域の電気を効率的に利用（送電ロス減少）
- 環境性と経済性の両立

発電した電気を  
自宅につかう

- CO2を出さない再エネ
- 電気代の抑制

都市部における  
新たな電力ネット  
ワークの構築

蓄電池やEVに貯めて  
効率的につかう

- 発電しない夜間も再エネ
- 電気代の抑制
- 災害時の電源確保

再エネ由来の  
電気をつかう

電気が余っている時間  
なるべく電気をつかう  
(不足している時間帯は省エネ)

- 太陽光由来の電気を有効活用
- 電気代の抑制

# 住宅用太陽光発電の余剰電力を活用した実証事業

## 7月よりスタート

### 特徴1

#### 区民参加型の社会実証

約300件の区民モニターに参加していただき、一定規模での効果検証を行うことで、社会実装に取り組めます。



### 特徴2

#### 「経済性」と「環境性」の両立

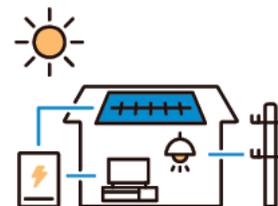
市場原理による価格決定メカニズムに基づいた余剰電力（再エネ）の取引システムにより、経済性と環境性の両立を目指します。



### 特徴3

#### 住宅都市型の地域電力ネットワーク検証

発電側（住宅での太陽光発電等）と需要側（一般家庭の電力利用）を結びつけて、自動的に取引する電力ネットワークを検証し、住宅地での効率的なエネルギー利用を目指します。



### 特徴4

#### エネルギーの地産地消

大規模な発電所から集中して電力を供給する「集中型」から、一般家庭などの小規模で区内に分散する電力を地域内で利用する「分散型」へシフトすることで、エネルギーの地産地消を目指します。



卒FIT買取サービス  
「せたがやシェア」



モニター  
募集

売り手 200軒

買い手 100軒

でんきプラン  
「せたがやでんき」



未来の 住宅と住宅の個人間取引をバーチャルで成立  
『でんきネットワーク』実現を目指しています

一般的な電気使用量  
からシミュレート

- ✓ 3人家族
- ✓ 50A
- ✓ 450kWh



<参考>東京電力エナジーパートナー従量電灯B

¥19,552  
月額 (税込)

お手軽プラン

¥18,432  
月額 (税込)

〜¥1,120 お得

CO<sub>2</sub>フリープラン

¥19,224  
月額 (税込)

〜¥328 お得



プランにより  
**15,000**  
または **5,000**  
ポイント進呈

電気も農産物もせたがや産！  
電気も農産物も地産地消！



成城八二一  
抽選10名

# 世田谷区産業活性化拠点「HOME/WORK VILLAGE」に リユース太陽光パネルで再エネ発電所を整備



旧池尻中学校屋上プール

- 区立池尻中学校跡地に新たにオープンした世田谷区産業活性化拠点「HOME/WORK VILLAGE」内の旧池尻中体育館屋上プールに太陽光パネルを設置
- 設置する太陽光パネルは、首都圏の商業施設で利用されていた太陽光パネルを再利用したリユースパネル
- 発電した電力は、みんな電力の「せたがやピーパ」で地域の住民に供給

提供：株式会社updater

区内で電気の地産地消の取組みが広がっています！

# 家庭部門の脱炭素行動を促進する 「UCHIKARAプロジェクト」を始動

世田谷区の温室効果ガス排出量削減目標  
(2030年までに2013年度比で57.1%削減)  
を達成するため、家庭部門のCO2削減を、  
一人ひとりが自分ごととして、“うちから  
(家から、内から、中身から)”推進する、  
区民、企業、行政の連携プロジェクトです



今、ちょっと  
いい 미래를

U C H I  
K A R A

選択してみる

世田谷区・脱炭素化プロジェクト

再エネでんき切り替えキャンペーン

いま、電気を再エネに切り替えると、



最大 **15,000** 円分  
還元!

2025 7月1日(火) から 9月30日(火) まで

## 取組み① 再エネ電力切替キャンペーン

- ◆ 家庭のCO2排出源の約7割を占める「電力」に着目
- ◆ CO2を排出しない「再エネ電力」に契約を切り替えると、最大15,000円分を還元
- ◆ 1家庭あたり、年間約1.7tのCO2の削減(きわめて効果大)

キャンペーン実施会社

東急パワーサプライ

octopusenergy

idemitsu

UPD/ATER,INC.

生活クラブエナジー  
Seikatsu Club Energy Co.

しろくま電力  
ShirokumaPower

J:COM

取組み②  
民間事業者との連携による実証事業

でんきを見える化する実証事業



区民モニター400軒で  
効果検証を実施

- ✓ 東京都の支援事業を活用した連携事業
- ✓ 連携事業者の省エネ機器を区民モニター400軒に無償提供し省エネ効果を検証
- ✓ 実証実験期間は令和7年7月から8月まで

取組み②  
民間事業者との連携による実証事業

既存住宅へのフレキシブルモジュール導入実証事業

3kg/m <sup>2</sup> 従来の1/4~1/3	厚さ2.5mm 壁面・曲面 設置可	架台不要 施工費ダウン
KG 軽量化	柔軟性	施工性
高効率	低反射	鉛フリー
21.8%	入射角85°Cで5% 従来の1/10	環境に優しく 一般廃棄物として 取り扱い可能

15年 品質保証    25年 効率保証

©2023 Alternative Technology&Products Co.,Ltd.

区内の既存住宅に実際に設置する  
実証事業を実施

- ✓ 区民モニター4軒に『薄型軽量太陽光パネル』を設置
- ✓ 令和7年8月から令和9年3月まで
- ✓ 検証① 既設住宅の様々な屋根・築年数に接着施工
- ✓ 検証② 戸建住宅へのサービス提供の社会実装性

## 取組み③ 区民へのわかりやすい情報提供

### 補助対象メニュー



**再エネ電気プランへの切替**  
世田谷区限定の特別な割引・特典



太陽光パネル・蓄電池の設置

最大：200万円強の補助



エアコン・冷蔵庫・給湯器の設置・買替

最大：8万円の値引き



注文住宅の新築・新築分譲住宅の購入

最大：240万円の補助



リフォームの実施

600万円超の補助

### PICKUP CONTENTS



#### 世田谷区 家庭部門脱炭素化ロードマップ

UCHIKARA(ウチカラ)世田谷区は区内家庭部門における脱炭素化戦略を定めて実行していきます。



#### 成城地区の脱炭素地域づくり 『SEIJO GREEN CITY』

脱炭素への取組みだけでなく、持続可能な地域づくりを目指した地域課題の解決・魅力向上等の取組みを実施していきます。これからも、みどり豊かで暮らしやすい成城のまちを住民の皆様とともに目指します。



#### 【区民モニター募集】住宅用太陽光発電の余剰電力を活用した実証事業

世田谷区内にあるソーラーパネルで発電されたエネルギーを「地産地消」することを目指した実証事業をスタートします。

### 世田谷区 電気の地産地消プロジェクト

プロジェクトについて プロジェクトのポイント プラン内容 よくある質問 お問い合わせ [モニターに応募](#)

## 人がつながる でんきでつながる

住宅用太陽光発電の余剰電力を活用した実証事業

地域でエネルギーを分かち合い、住民がつながり合う

世田谷発、電気の地産地消プロジェクト、はじめます。

[モニターに応募する](#)

# 世田谷総合教育会議

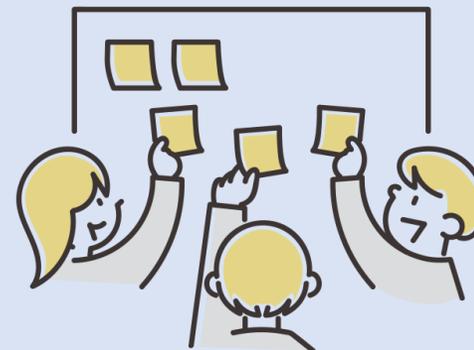
これまでの取り組み（H27年度～平成30年度）

開催年度		テーマ
平成27年度	第1回	大綱の策定
	第2回	多様な学び・教育の実現 教員支援のあり方について
	第3回	共に考える学校支援、幼児教育の充実に向けて 特別支援教育の今後について
	第4回	今年度の振り返り
平成28年度	第1回	多忙な学校現場に対し、どのような支援が必要か 幼児教育において、何が必要か
	第2回	家庭教育の役割と、行うべき支援は何か
平成29年度	第1回	幼児期からの豊かな「遊びと学び」の環境づくり 「学びの質的転換」と「新教育センターの役割」
	第2回	「配慮を要する子どもたち」と「学びの多様性」 子どもの可能性を伸ばす学校外の教育環境
平成30年度	第1回	学びの質の転換と新学習指導要領
	第2回	SDGs（持続可能な開発目標）



# これまでの取り組み (令和元年度～令和6年度)

開催年度		テーマ
令和元年度	第1回	子どもの自己肯定感をはぐくむ
	第2回	ICTの活用について
令和2年度	第1回	新型コロナウイルス感染症に対応した新たな学び
	第2回	これまでの学び、これからの学び ～保護者や教員・子どもから捉えたICTによる新しい学び～
令和3年度	第1回	教育総合センターの開設に向けて
	第2回	子どもたちの自己肯定感を育てる
令和4年度	第1回	コロナ後を見据えた学びの変化について
	第2回	不登校・ひきこもりの子どもの学び
令和5年度	第1回	新たな学びの実践に向けて 教育大綱の策定について
	第2回	教育大綱(素案)に対する意見交換 教育大綱(案)に向けて
令和6年度	第1回	これからのせたがやの学びについて ～子どもたちの多様性や個性を伸ばす学びの場づくり～
	第2回	子どもたち一人ひとりの個性を引き出す多様な学び



# 令和7年度第1回 世田谷区総合教育会議

## テーマ：「子どもに魅力ある学校づくりの取組み」

	時間	内容
開 会	5分	開会（区長挨拶）・委員紹介
基調講演	20分	世田谷区学びの多様化学校に期待すること（～高尾山学園での実践より～） ゲスト：黒沢 正明氏（文部科学省学びの多様化学校マイスター、前高尾山学園校長、豊島区不登校対策スーパーバイザー）
区 の 取組み	20分 (10分× 2)	子どもたちが通いたくなる魅力ある学校づくりを進めている中で、園・学校、教育委員会事務局が取組んでいる事業及び他自治体の実践例の報告 ①学びの多様化学校の教育課程について ②鎌倉市立由比ガ浜中学校（学びの多様化学校）での取組み内容について
休 憩	10分	休憩
意見交換	80分程度	区長、教育委員会、ゲスト等による意見交換 今後、子どもたちが通いたくなる魅力ある学校づくりをどう進めていくか、方向性や課題解決など、各々の立場や視点から意見交換を実施
閉 会	1分	閉会

# 令和7年度第1回 世田谷区総合教育会議

## テーマ：「子どもに魅力ある学校づくりの取組み」

<p><b>日 時</b></p>	<p>令和7年8月30日（土）13時30分～16時00分</p>
<p><b>会 場</b></p>	<p>教育総合センター1階研修室（たいよう）</p>
<p><b>開催手法</b></p>	<p>会場（傍聴）70名・オンライン500名（先着順） （後日、区公式YouTube配信）</p>